



QUATTRO 0.51

快適な暮らしを考えたらこんな窓ができました。たっぷりと光を取り込み、家の中に風を通す。季節の中で、日々のうつろいゆく景色を眺める。私たちの暮らしを考えると、窓にはいくつもの役割があり、窓によってもたらされるたくさんの恩恵を受けています。住む人のもっと快適で心地よい暮らしを考えたとき、そのヒントは窓にあると私たちは思っています。「クワトロ0.51」は、従来のアルミ製や樹脂製ではなく、私たちがもっともなじみのある木を使った木製窓です。



LINE UP
[外開き・突出し・両開き・内開き・内倒し・FIX]



特徴1：断熱性能
熱貫流率0.51W/m²Kという、省エネ性能に優れた住宅の壁に匹敵する断熱性能を発揮しました。

特徴2：防火性能
20分間の遮炎性能を有する防火設備として、防火地域・準防火地域に設置する開口部で延焼の恐れがある部分に採用できます。

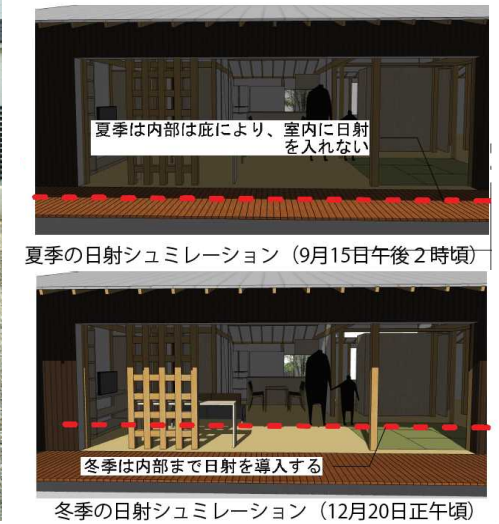
特徴3：遮音性能
例えば、外部が極めてうるさい交差点付近であった場合、内部では40dB以下（図書館や、郊外住宅地）になるということです。

特徴4：全国の木創研会員が販売します。
断トツ高断熱木製サッシを全国に普及するため、OEM化します。キマド本社工場で研修したエンジニアが各地の工場でクワトロを製造します。（右下写真：研修の様子）

JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2015
クワトロサッシは
ウッドデザイン賞
を受賞しました。



■木創研パッシブ型ゼロエネルギーハウス
左：木創研の家 愛知モデルプラン
（床面積115㎡・6地域区分）
木創研ゼロエネ住宅は、木のもつ魅力や温かさを大切にし、内外装や断熱材には自然材料を極力使用し、外壁とほぼ同じ断熱性能を持つキマド社のクワトロサッシを使用することで、外皮平均熱貫流率UA値0.27W/m²K（Q値0.86）というダントツの外皮性能を持った住宅です。
木創研ゼロエネ住宅は断熱性能だけでなく、日射のコントロール・蓄熱床・室内空気の流れなどが考えられたパッシブ型ゼロエネルギーハウスです。
このノウハウを全国の設計事務所・工務店と共有し、ZEH普及に貢献します。



＜地域に根ざす作品として新聞掲載されました＞



グループ活動部門

低炭素社会の推進

建築物の低炭化の推進、低炭素型のライフスタイルの推進、再生可能エネルギーの積極的活用

木の文化を創造する研究会

一般社団法人木創研

一般社団法人木創研は、建築家中村勉を中心として、2050年の80%省CO₂排出量を目標とした、低炭素社会の実現に向けた活動を行い、次世代の木の文化を創造することに貢献する研究を行います。

木創研は地域の木材、自然素材を利用し、地域の生活スタイルを尊重し、地域の工務店、設計者を支援し、地域のエネルギーで地球を救うパッシブ型ゼロエネルギーハウスを普及します。

木創研技術開発支援製品である「クワトロ0.51」は、キマド社（富山）と中村勉総合計画事務所（東京）が共同開発し、世界トップクラスの断熱性能を持ちます。防火性能・防音性能にも優れた木製サッシで、OEM導入により全国の木創研推進会員が製造・販売する仕組みをつくりました。

木創研が提供するパッシブ型ゼロエネルギーハウスのノウハウは、各地で頑張る設計事務所、工務店を支援しながら、各地の木の文化・木造の継承すべき技術と省エネ化に通じる生活スタイルの研究を実践します。

応募代表者：中村勉

建築家
一般社団法人 木創研 代表理事
中村勉総合計画事務所 代表

2011年の東日本大震災を契機にローコストエコハウス復興住宅の開発を始めた。2014年には省エネ法が改正され、2020年に向けた住宅の省エネ基準が示されている。それらを満足する省エネ性能をさらに高めるために、キマド株式会社と協力してクワトロサッシを開発し、これを利用することによって、ゼロエネルギーハウスも容易に実現するようになった。さらに省エネ性能を高めるための設計手法を研究し続ける。



＜創設メンバー＞
中村勉総合計画事務所
キマド株式会社
株式会社シンホリ
株式会社建協
株式会社サンエム
奈良建材店